

## 事務事業評価表

**■Plan (計画)**

<b>A. 事務事業の名 称</b> 中小企業融資制度		1. 事務事業整理シート番号			
		2. 作成年月日 平成26年11月12日			
		3. 主管課・係名 産業振興課・農政商工係			
<b>B. 予算事業名</b> (事業別予算名を記入する。) 商工業振興費		4. 評価年度 平成25年度			
		5. 開始年度 平成19年度			
		6. 終了年度 未定			
7. 予算科目		款	6項	1目	2

<b>C. 事業区分</b>	8. 事務の種別	<input type="checkbox"/> 自治事務(義務) <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務(任意) <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	9. 補・単の種別	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県費 <input type="checkbox"/> 単独事業			
	10. 根拠条例等	上里町中小企業融資に関する規則			

<b>D. 総合振興計画</b> (第4次総合計画から記入する。)	11. 政策目標	4 活力に満ちた産業創造のまち			
	12. 政策	2 工業の振興			
	13. 施策目標・数値目標がある場合はそれを記入し				
	14. 主要施策名	1 既存企業の強化			
	15. 事業群	1 高度化と経営基盤の強化			

**■Do (実施)**

<b>E. 事務事業の概要</b> (当該事務事業の目的・対象・手段を記入する。)	16. 事業の目的 <small>(何を目的として事業を行うのか。)</small>	町内中小企業者の事業振興を図るため、必要な資金のあっせんを行う。
	17. 事業の対象 <small>(誰を何を対象としているのか)</small>	町内で1年以上継続して同一事業を営み、かつ申し込み日以前1年以上引き続き町内に住所及び事業所を有する。また、事業所小規模企業者で、常時使用する従業員の数が20人(商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については5人)以下の個人又は法人。
	18. 事業の手段 <small>(どんなやり方で事業を行ったのか)</small>	融資機関に対し、予算の範囲内において、融資に必要な資金を預託し、貸付利率等に関して協定を結び融資を行う。

<b>F. 費用の概要</b> (事務事業に投入したコストを記入する。)	区 分	単 位	平成24年度決算	平成25年度決算	構成比 %	平成26年度予算
	19. 事業費		千円			
20. 人件費 (単価*人工)		千円				
	a 正職員	千円				
	b 臨時職員	千円				
21. 総事業費(18+19)		千円				
22. 財源内訳	a 受益者負担	千円				
	b 国・県支出金	千円				
	c その他特定財源	千円				
	d 一般財源	千円				
23. 利用者数・対象者数		人				
24. 利用者(住民)1人当り経費(20/22)		円				
25. 受益者負担水準(21a/20)		%				

<b>G. 指標</b> (事業の活動や成果を数値等で記入する。)	区 分	平成24年度		平成25年度		達成率%	平成26年度		
	26. 活動指標名		目標		目標			目標	
			実績		実績				
27. 成果指数名		目標		目標			目標		
		実績		実績					
28. 活動結果・成果 (両指標に関連して目的・目標にどれだけ近づいたか、効果はあったか)									
活動指標、成果指数なし。									

■Check (評価)

H.第1次評価 (担当部門による自己評価を記入する。)	個別評価	評価観点	評価[(高)3・2・1(低)の3段階]		
	H.第1次評価 (担当部門による自己評価を記入する。)	29.妥当性 (目的や町の関与の妥当性、住民ニーズへの対応などの観点)	社会経済環境の変化の中で、事業の必要性は今でも変わらないのか	}	1
事業に対する住民ニーズにどのような変化があるのか			1		ニーズがない
国・県・民間など役割分担から町が実施することが妥当なのか			1		県・商工会の制度が充実している
30.有効性 (事業効果や施策への貢献度、成果の向上度などの観点)		事業の成果が、上位施策の実現につながっているか	}	1	成果目標がない
		事業目標に向かって、成果への進捗状況は適正なのか		1	事業目標がない
		活動内容が進捗状況と併せて有効な手段となっているのか		1	活動内容がない
31.効率性 (費用対効果や手段の最適性や受益者負担の適正化などの観点)		最小のコストで効率的に事業が行われているか	}	1	近年、事業実績がない
		コストをはじめ事業内容などに改善の余地はないか		2	社会情勢変化により改善が必要
		受益者負担は、社会情勢などに照らして適切なのか		3	適切である
32.総合評価 (上記の評価結果をもとに、目標と成果について、総合的に評価する。28, 29, 30の合計点により、自動的にチェックされます)		評価		評価定義(個別評価結果をもとに目標と成果を評価する。)	
		期待した以上の効果や成果が上がっている。	(評価 25~27点)		
		概ね期待していた効果・成果が上がっている。	(評価 18~24点)		
	●	期待している効果や成果までは到達していない。	(評価 10~17点)		
	これ以上の効果・成果や目的達成は期待できない。	(評価 9点)			

■Action (改善)

I.課題・予測 (実施上の課題・問題点や今後の社会環境やニーズの予測を記入する。)	埼玉県では中小企業制度融資事業を実施しており、本町より内容が充実しているため本制度の必要性は低い。
--	---

J.今後の展望 (評価結果により改善策について記入する。)	事業改革案	33.事業の展開	<input type="checkbox"/> 重点化(資源・コストの集中) <input type="checkbox"/> 改善(関与・手続など見直し) <input type="checkbox"/> 効率化(コストの削減) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合(事業統合又は廃止) <input type="checkbox"/> 簡素化(メニューなどを縮小) <input type="checkbox"/> 現行(概ね現事業を踏襲)
		34.概要 (何を、何時までに、どのように)	平成26年度での廃止を視野に入れ検討する。
		35.期待される効果 (改革の実施によりどんな効果をえられるか)	指定金融機関に預けている預託金(8,380千円)を引き上げ有効活用することができる。
		36.実施への留意点 (推進上、配慮や注意が必要なことは)	町内中小企業に対する行政サービスの低下であると判断されてしまうことが想定される。

J-1.所属長 所見 (評価・今後の展望などに対する所見を記入する)	平成15年度から利用がない状況である。上里町商工会と調整し、廃止する方向で検討していきたい。
--	--

※ 各課(局)等での記入は、J欄で終了です。

※ K欄の記入は、評価委員会の記入となります。

K.第2次評価 (内部評価委員会による評価を記入する。)	37.総合評価	<input type="checkbox"/> 創意工夫が必要 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> このままでよい
	38.予算要求	<input type="checkbox"/> 同額 <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input checked="" type="checkbox"/> 終了
	39.人員配置	<input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 増員 <input type="checkbox"/> 減員
	40.評価理由 (37,38,39での評価結果について主な理由を記入する。)	県をはじめ様々な条件の良い融資があり、利用者がいない。 他の融資も充実しており継続する必要性が無いため廃止が妥当。 ただし、事業を廃止する際には、制度の存在意義、及び反響等について担当課で十分精査した上であたること。